

# 今後の検討スケジュール（項目修正案）

資料2

時期	テーマ	想定トピック・キーワードなど	活動から見た課題等について
第3回 (3/20)	論点① 今後の協働・連携のあり方	・協働・連携により目指す地域社会の確認(協働の目的、定義等)	
	論点② 活動手法と活動主体の多様化	・活動団体の多様化への対応	
第4回 (5/1)	論点③ 中間支援機能・組織	・【機能面】個別団体を支援する中間支援機能のほかに、市民や資源、各団体間つなぐ場としての中間支援機能 ・【組織面】エリア、活動領域、官民など、分類問わず中間支援組織の多様化の必要性。中間支援組織のネットワーク化の必要性	小倉委員 齊藤委員 治田委員 村瀬委員
	論点④ 情報	・周囲からの共感を得て、寄付やボランティアなど資源獲得の入り口につながるためのICTを活用した効果的な情報発信(団体支援としての情報発信) ・多様な主体や市民をつなぐ情報プラットフォーム(ICTを活用したマッチング、中間支援としての情報発信)	岩本委員
第5回 (6/3)	論点⑤ 資金	・行政資金のあり方(委託料か補助・助成金か) ・民間からの資金流入を促し、市民社会全体で支えるしくみ(例:企業CSRとの連携、市民ファンドとの連携、遺贈の活用、空き不動産の運用など)	岸本副委員長 広岡委員
	論点⑥ 人材	・社会貢献に対する個人の生き方働き方の意識変化への対応(社会的企業等による雇用創出) ・主に活動団体から見た活動資源としての人材確保策、担い手不足への対応 ・個人から見た生きがいと団体から見た活動資源確保を両立する人材マッチングの仕組み	下川原委員 末吉委員
	論点⑦ 場	・交流推進の場(行動・連携を生み出す場、プラットフォーム) ・活動資源としての場(主に活動団体への支援策としての活動場所の確保) 例:いこいの家など既存行政施設の有効活用や民間施設の活用、空き家の活用など	名和田委員長
第6回 (7月上旬)	論点⑧ 行政の役割や具体的な施策	主な施策の例(イメージ) ・多様な主体による円卓会議(プラットフォーム)、ICTを活用した効果的な情報発信、協働・連携マニュアルの整備、協働型事業の見直し、人材マッチング(プロボノ)事業、協働・連携に関する庁内推進組織、職員の意識改革(協働に関する研修など)、SB支援(入札制度、取組成果を評価する仕組み(SROI)、事業者認証制度)、市民活動支援指針の改訂	
	論点⑨ 協働・連携の対象、意義、定義など	(論点①の再確認)	
第7回 (8月上旬)	これまでの議論の振り返り、基本方針の方向性の検討、報告書骨子案の検討		
第8回 (10月上旬)	報告書(案)の検討		
第9回 (11月上旬)	報告書(案)の確定、報告書提出		